

## 会計人材開発支援プログラムの開催状況 (2013年2月～2013年7月)

| プログラム名           | 概要  | 開催日 <sup>※2</sup>  |
|------------------|---|--|
| ACCOUNTINGプログラム  | <p>&lt;プロジェクト A&gt;<sup>※1</sup><br/>                     [講師：川西安喜 FASF 国際研究員（有限責任あずさ監査法人）、秋葉賢一早稲田大学大学院会計研究科教授]<br/>                     純利益とリサイクリング、IASB 概念フレームワーク「財務報告の目的」についてのプレゼンテーション、ディベート等が行われた。</p> <p>&lt;プロジェクト B&gt;<sup>※1</sup><br/>                     [講師：秋葉賢一早稲田大学大学院会計研究科教授]<br/>                     IASB 概念フレームワークを踏まえ、資本と利益の区分、利益計上のタイミング、資産・負債の測定についてのプレゼンテーション、ディスカッション等が行われた。</p> | 2/20 (A)<br>3/27 (A)<br>5/13, 16 (A)<br>6/12 (A)<br>2/5 (B)<br>3/4 (B)<br>5/16 (B)<br>6/12 (B) |
| writing トレーニング   | <p>&lt;プロジェクト A&gt;<br/>                     自己創設のれんの認識、リース・プロジェクトの議論における暫定的意思決定について議論等についてのレポート提出が行われた。</p>  | 2/27<br>3/29<br>5/30<br>6/27   |
| ディスカッション・トレーニング  | <p>&lt;プロジェクト A、B&gt;<br/>                     [講師：Markus Fucks 氏（有限責任あずさ監査法人）、Trevor Tisseverasinghe 氏（あらた監査法人）]<br/>                     収益に基づく減価償却を認めるべきか否か、企業にヘッジ会計を認めるべきか否か等について、英語でのディスカッションが行われた。</p>  | 2/7<br>3/13<br>5/21<br>6/18  |
| IASB UPDATEプログラム | <p>&lt;プロジェクト A、B&gt;<br/>                     鶯地隆継 IASB 理事、湯浅一生 IFRS 解釈指針委員会委員（富士通株式会社）が講師となり、最近の IASB の基準開発の状況等について説明及び質疑応答が行われた。</p>   | 2/27<br>3/27   |
| 交流プログラム          | <p>&lt;プロジェクト A、B&gt;<br/>                     [講師：竹村光広 IFRS 財団アジア・オセアニアオフィス・ディレクター]<br/>                     IASB 客員研究員としての経験をもとにした講話があり、その後、意見交換が行われた。</p>  | 2/14<br>5/24   |

| プログラム名 | 概要   | 開催日 <sup>※2</sup> |
|--------|--|-------------------|
|        | [講師：斉藤惇株式会社日本取引所グループ CEO]<br>「最近のマーケットと JPX の戦略 IFRS」と題しての講話があり、<br>その後、意見交換が行われた。 |                   |

※1 プロジェクト A は IASB プロジェクト・マネージャーレベルの人材育成を目標とし、プロジェクト B は IASB 理事候補や IFRS 解釈指針委員会委員候補、IFRS 諮問会議委員候補、ASBJ 常勤委員（国際担当）候補等の輩出を目標としている。

※2 (A) はプロジェクト A、(B) はプロジェクト B での実施を指す。